貝毒プランクトンモニタリング速報(YC59)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年12月28日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種			下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	·-	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L
増毛	12/22	0	6.4	33.78	0		0	0	0
(11.0)		10	6.4	33.82	0		0	0	0
		20	6.4	33.81	0		0	0	0
		30	6.4	33.81	0		0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

コメント

12月の日本海北部(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC58)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年12月26日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種			下痢性原因和	锺*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	•	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L
標津	12/21	0	2.7	31.40	0		0	10	0
(11.0)		5	2.7	31.41	0		0	10	0
		10	2.7	31.41	0		0	0	0
		15	2.7	31.41	0		0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

コメント

12月の根室海峡(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは標津でディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK39) (函館水試担当地区)

2016年12月14日

函館水產試験場調查研究部

					麻痺性	原因種			下痢性原因	重		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao		Df	Da	D属の他種	ĺ	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	i	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
静内	12/5	0	10.0	33.81	0	0		0	0	10	Dt10	
太平洋中部		10	10.2	33.95	0	0		0	0	0		
4.0		20	10.1	33.93	0	0		0	0	0		
		30	9.8	33.88	0	0		0	0	0		
虻田	12/12	0	7.2	29.54	0	0		0	0	10	Dn10	
噴火湾東部		5	7.8	33.69	0	0		0	0	0		
7.9		10	7.9	33.70	0	0		0	0	0		
		15	7.9	33.72	0	0		0	0	0		
		20	7.9	33.73	0	0		0	0	0		
		25	7.9	33.73	0	0		0	0	0		

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

12月上旬の水温は, 太平洋中部で9.8~10.2℃, 12月中旬の水温は, 噴火湾東部で7.2~7.9℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC57)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年12月12日

中央水産試験場資源管理部

											_
						麻痺性原因種			下痢性原因和	重*	
	地 点	月日	深度	水温	塩分	At	-	Df	Da	D属の他種	
	(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
•	能取湖	12/6	0	2.02	30.91	0		0	10	0	
	(5.0)		0	1.91	31.08	0		10	50	40	Dro
	サロマ湖	12/5	0	2.3	30.87	0		0	10	0	_
	(3.5)		3	2.2	30.88	0		0	0	0	
			6	2.1	30.90	0		0	0	0	
			9	2.1	30.92	0		0	10	0	
			12	2.1	30.93	0		0	0	0	
			15	2.1	30.95	0		0	0	0	
	厚岸	12/8	0	3.8	31.92	0		0	0	0	_
	(3.5)		5	3.9	31.96	0		0	0	10	
			10	4.3	32.28	0		0	0	0	
			13	4.8	32.32	0		0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

12月の能取湖、サロマ湖および太平洋東部(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・フォルエティ、アキュミナータ、ノルヴェジカおよびロツンダータがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK38)

(函館水試担当地区)

2016年12月7日

函館水產試験場調査研究部

	•				麻痺性	原因種		下痢性原因	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
八雲	12/5	0	7.9	32.91	0	0	0	0	0
噴火湾西部		5	8.1	33.67	0	0	0	0	0
12.0		10	7.9	33.67	0	0	0	0	0
		15	8.3	33.77	0	0	0	0	0
		20	8.2	33.78	0	0	0	0	0
		25	8.2	33.77	0	0	0	0	0
		30	8.2	33.77	0	0	0	0	0
知内	12/5	0	10.8	33.19	0	0	0	0	0
津軽海峡		10	11.5	33.88	0	0	0	0	0
12.0		20	11.4	33.89	0	0	0	0	0

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

12月上旬の水温は、噴火湾西部では7.9~8.3℃, 津軽海峡では10.8~11.5℃です。

備考

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC56)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年12月1日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種			下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	•	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L
江差	11/24	0	9.2	33.79	0		0	0	0
(12.0)		10	9.2	33.85	0		0	0	0
		20	9.3	33.91	0		0	0	0
		30	9.4	33.99	0		0	0	0
標津	11/30	0	4.3	31.45	0		0	0	0
(11.0)		5	4.3	31.45	0		0	10	0
		10	4.3	31.46	0		0	20	0
		15	4.3	31.46	0		0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

コメント

11月の日本海南部(江差)および根室海峡(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは標津でディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK37)

(函館水試担当地区)

2016年11月25日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因	重
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
八雲	11/17	0	9.2	33.53	0	0	0	0	0
噴火湾西部		5	9.2	33.53	0	0	0	0	0
5.0		10	9.3	33.53	0	0	0	0	0
		15	9.3	33.54	0	0	0	0	0
		20	9.3	33.54	0	0	0	0	0
		25	9.3	33.54	_	_	_	_	_
		30	9.7	33.69		_	_	_	
鹿部	11/18	0	10.5	33.87	0	0	0	0	0
噴火湾湾口部		5	10.5	33.87	0	0	0	0	0
9.5		10	10.5	33.88	0	0	0	0	0
		15	10.5	33.88	0	0	0	0	0
		20	10.8	33.94	0	0	0	0	0
		25	10.8	33.95	0	0	0	0	0
		30	10.8	33.96	0	0	0	0	0
		40	10.8	33.96	0	0	0	0	0
知内	11/14	0	12.4	33.33	0	0	0	0	0
津軽海峡		10	13.4	33.83	0	0	0	0	0
15.0		20	13.5	33.90	0	0 -+=whz hz	0	0	0

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

11月中旬の水温は、噴火湾西部では9.2~9.7℃、噴火湾湾口部では10.5~10.8℃、津軽海峡で13.5℃です。

時化によりプランクトン欠測

"

は12.4~

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年11月16日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種			下痢性原因和	重*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	-	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
サロマ湖	11/14	0	4.5	31.64	0		0	50	0	
(5.2)		3	4.5	31.65	0		0	20	0	
		6	4.5	31.66	0		0	20	10	Dn
		9	4.5	31.67	0		0	30	0	
		12	4.5	31.72	0		0	50	0	
		15	4.7	31.79	0		0	0	0	
常呂	11/14	0	5.3	31.13	0		0	10	0	
(11.0)		10	5.2	31.29	0		0	30	0	
		20	5.1	31.29	0		0	30	0	
		30	5.1	31.30	0		0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

11月のサロマ湖および網走中部海域(常呂)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・アキュミナータなどがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス ルジェイ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年11月14日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
猿払	11/7	0	9.1	34.13	0	0	0	0
_		10	9.1	34.14	0	0	0	0
		15	9.1	34.14	0	0	0	0
		20	9.1	34.14	0	0	0	0
増毛	11/7	0	12.3	33.85	0	0	0	0
(14.0)		10	12.3	33.84	0	0	0	0
		20	12.3	33.84	0	0	0	0
		30	12.3	33.84	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

コメント

月の宗谷北部(猿払)および日本海北部(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現しておりません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK36)

(函館水試担当地区)

2016年11月8日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因		•
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	11/7	0	11.1	33.91	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	11.1	33.92	0	0	0	0	0	
6.0		20	11.2	33.95	0	0	0	0	0	
		30	11.2	33.94	0	0	0	0	0	
蛇田	11/7	0	10.5	31.79	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	10.4	33.67	0	0	0	0	0	
12.1		10	10.4	33.91	0	0	0	0	0	
		15	10.1	33.90	0	0	0	0	0	
		20	9.8	33.87	0	0	0	0	0	
		25	9.8	33.87	0	0	0	0	0	
森	11/1	0	12.3	33.35	0	0	0	0	0	_
噴火湾西部		10	12.3	33.54	0	0	0	0	0	
10.0		20	12.4	33.58	0	0	0	0	30	Dt30
		30	12.4	33.60	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegicaディノフィシス ノルヴェジħ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス ᠴウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダダ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

11月上旬の水温は、太平洋中部では11.1~11.2℃、噴火湾東部では9.8~10.5℃、噴火湾西部では12.3~12.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年11月8日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	锺*	_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	_
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	11/7	0	8.2	32.31	0	10	90	80	
(3.9)		5	8.3	32.37	0	10	80	30	Dro10, Di20
		10	8.9	32.76	0	10	20	30	Di30
		12	9.6	32.84	0	0	0	10	Di10

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

11月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒ブランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフォシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータおよびインファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサント・リウム・フラテルクルス(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra $\bar{\tau}$ יֹן/フィンス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica $\bar{\tau}$ יֹן/フィンス・/ルヴェンカ, Dru=Dinophysis rudgei $\bar{\tau}$ יֹן/フィンス איל בּל

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年9月26日

中央水産試験場資源管理部

											_
						麻痺性原因種			下痢性原因	種*	
	地 点	月日	深度	水温	塩分	At	_	Df	Da	D属の他種	
_	(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
_	能取湖	10/25	0	10.6	33.07	0		0	10	20	Di20
_	(3.5)		10	10.6	33.10	0		0	0	20	_Di20
	江差	10/19	0	15.9	34.05	0		0	0	0	
	(6.5)		10	15.5	34.06	0		0	0	0	
			20	13.7	34.08	0		0	0	0	
_			30	12.3	34.13	0		0	0	0	
	標津	10/26	0	13.1	33.27	0		0	0	0	
	(7.0)		5	13.1	33.29	0		0	0	0	
			10	13.1	33.34	0		0	10	0	
			15	12.9	33.30	0		0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス・タマレンシス

コメント

10月の能取湖、日本海南部(江差)および根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖と常呂でディノフィシス・アキュミナータが、能取湖でディノフィシス・インファンディプラがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ・/ルヴェジħ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス トレジェイ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年10月20日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種			下痢性原因和	重*	_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	•	Df	Da	D属の他種	_
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
サロマ湖	10/17	0	13.0	32.54	0		0	0	10	Dro10
(4.1)		3	13.1	32.71	0		0	0	0	
		6	13.7	33.01	0		10	0	10	Di10
		9	13.6	33.00	0		10	0	10	Di10
		12	13.6	33.23	0		0	0	0	
		15	13.7	33.12	0		0	0	0	_
常呂	10/17	0	13.1	33.17	0		0	0	20	Dro10,Di10
(12.0)		10	13.3	33.49	0		0	10	0	
		20	13.4	33.61	0		10	0	0	
		30	13.4	33.60	0		10	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

10月のサロマ湖および網走中部海域(常呂)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィンス・ロツンタ・ータ. Di=Dinophysis infundibula ディノフィンス・インファンディフ・ラ

Dm=Dinophysis mitra ディ/フィシス ・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス ・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス ルジェイ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK35)

(函館水試担当地区)

2016年10月20日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因和	重		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考	
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
鹿部	10/17	0	16.7	33.18	0	0	0	0	10	Dru10	
噴火湾湾口部		5	16.6	33.17	0	0	0	0	0		
10.0		10	16.5	33.21	0	10	0	0	0		
		15	14.4	33.43	0	0	0	0	0		
		20	12.9	33.51	0	0	0	0	0		
		25	11.7	33.67	0	0	0	0	20	Dt20	
		30	11.5	33.73	0	0	0	0	0		
		40	11.1	33.74	0	0	0	0	0		

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

10月中旬の水温は、噴火湾湾口部では11.1~16.7℃です。

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK34)

(函館水試担当地区)

2016年10月17日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種			下痢性原因和		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	-	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	;	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
八雲	10/14	0	16.0	32.51	0	0		0	0	0	
噴火湾西部		5	15.9	32.54	0	0		0	0	0	
9.0		10	15.4	33.30	0	0		0	0	0	
		15	14.5	33.75	0	0		0	0	0	
		20	13.6	33.73	0	0		0	0	10	Dru10
		25	13.0	33.75	0	0		0	0	0	
		30	12.7	33.74	0	0		0	0	0	
森	10/11	0	17.8	32.70	0	0		0	0	0	
噴火湾西部		10	17.8	32.75	0	0		0	0	10	Dt10
14.0		20	15.1	33.16	0	0		0	0	0	
		30	13.2	33.72	0	0		0	0	0	
知内	10/11	0	16.2	33.98	0	0		0	0	0	•
津軽海峡		10	16.1	34.04	0	0		0	0	0	
15.0		20	16.0	34.06	0	0		0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegicaディノフィシス ノルヴェジħ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

10月中旬の水温は、噴火湾西部では12.7~17.8℃、津軽海峡では16.0~16.2℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年10月14日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
猿払	10/6	0	14.8	33.94	0	0	0	0
_		10	14.8	33.96	0	0	0	0
		15	14.8	33.95	0	0	0	0
		20	14.8	33.95	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサント・リウム・フラテルクルス(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

コメント

10月上旬の宗谷北部海域(猿払)で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現しておりません。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年10月11日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
厚岸	10/7	0	14.0	31.12	0	0	30	0
(2.2)		5	14.5	32.32	_	_	_	_
		10	13.6	32.77	_	_	_	_
		12	13.4	32.92	_	_	_	_

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサント・リウム・フラテルクルス(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

コメント

10月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフォシス・アキュミナータが出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK33)

(函館水試担当地区)

2016年10月6日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因	锺	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	10/3	0	19.9	33.42	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	20.0	33.45	0	0	0	0	0	
20.0		20	17.9	33.68	0	0	0	0	50	Dt50
		30	17.1	33.63	0	0	0	0	0	
虻田	10/3	0	20.0	28.98	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	20.1	31.81	0	0	0	0	0	
13.5		10	20.3	32.85	0	0	0	0	0	
		15	20.0	33.23	0	0	0	0	10	Dt10
		20	19.8	33.41	0	0	0	0	0	
		25	19.3	33.50	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

10月上旬の水温は、太平洋中部では17.1~20.0℃、噴火湾東部では19.3~20.3℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK32)

(函館水試担当地区)

2016年10月3日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因和		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
鹿部	9/26	0	20.8	31.80	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	20.7	31.73	0	0	0	0	0	
12.0		10	20.6	31.74	0	0	0	0	0	
		15	20.6	31.72	0	0	0	0	0	
		20	20.5	31.75	0	0	0	0	0	
		25	20.3	32.28	0	0	0	0	0	
		30	20.1	32.79	0	0	0	0	0	
		40	16.0	33.25	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

9月下旬の水温は、噴火湾湾口部で16.0~20.8℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年9月29日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	锺*	-
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	_
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	9/23	0	20.7	33.47	0	0	0	20	
(10.0)		10	20.8	33.57	0	0	0	0	
		20	20.8	33.71	0	0	0	0	
		30	18.1	33.97	0	0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

9月下旬の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフォシス・ルジェイおよびロツンダータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサント・リウム・フラテルクルス(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra $\bar{\tau}$ ֹן/פֿריַלאָז ווּרָם $\bar{\tau}$ ָּלְיִלְקֹיִלאָז וּרָבְּיֹם norvegica $\bar{\tau}$ ֹן/פֿרָלאָז וּעָליִבּל, Dru=Dinophysis rudgei $\bar{\tau}$ ֹן/פֿרָלאָז וּעָליִבּל ווּעָבּליִם חייבים מוּליִבּל ווּעָבּלים מוּליבים מוּלים מוּליבים מוּל

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年9月28日

中央水産試験場資源管理部

										_
					麻痺性原因種	_		下痢性原因	種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	_'	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	9/21	0	21.1	31.52	0		0	0	0	_
(3.5)		10	22.5	33.86	0		0	0	0	
		20	21.3	33.95	0		0	0	0	
		30	19.6	33.97	0		0	0	0	
江差	9/21	0	21.6	33.89	0		0	0	0	
(23.0)		10	21.5	33.91	0		0	0	0	
		20	21.2	33.94	0		0	0	0	
		30	20.1	34.06	0	Af240	0	0	0	
厚岸	9/26	0	18.5	29.59	0		0	20	0	_
(3.0)		5	17.7	32.77	0		10	50	20	D
		10	17.3	32.91	0		10	10	20	D
		12	17.2	32.93	0		10	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

コメント 9月下旬の石狩湾海域(浜益)、日本海南部海域(江差)および太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは

下痢性貝毒プランクトンはディノフォシス・フォルティ、アキュミナータ、ルシェイおよびコウダータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサント・リウム・フラテルクルス(無毒種)

Df=Dinophysis fortii $\bar{\tau}^*$ לילוסליא. Da=Dinophysis acuminata $\bar{\tau}^*$ לוסליא. $\bar{\tau}^*$ לילוסליא. Da=Dinophysis acuminata בילוסליא.

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディ/フィシス ፡ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス ルンェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年9月26日

中央水産試験場資源管理部

										_
					麻痺性原因種			下痢性原因	重*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	_	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	9/15	0	18.9	30.33	0		10	0	0	
_		10	17.4	32.71	0		0	0	0	
サロマ湖	9/20	0	17.3	30.74	0	Aa20	0	0	0	
(6.5)		3	17.3	30.76	0	Aa20	0	0	0	
		6	17.8	32.00	0		0	0	0	
		9	17.8	32.38	0		0	0	0	
		12	17.5	32.48	0	Aa10	0	0	0	
		15	16.9	32.74	0		0	0	0	
常呂	9/20	0	17.3	33.16	0		0	0	0	
(0.8)		10	17.5	33.44	0		0	0	0	
		20	17.5	33.57	0		10	0	0	
		30	17.5	33.58	0		10	0	10	Dm1

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

9月の能取湖、サロマ湖および網走中部海域(常呂)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖と常呂でディノフィシス・フォルティが常呂でディノフィシス・ミトラがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2016年9月21日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因	重		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	Ī	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
虻田	9/15	0	21.7	31.38	0	0	0	0	0		
噴火湾東部		5	21.6	31.44	0	0	0	0	0		
12.0		10	21.6	31.55	0	0	0	0	0		
		15	21.4	31.68	0	0	0	0	0		
		20	20.7	32.16	0	0	0	0	0		
		25	20.0	33.51	0	0	0	0	20	Dt20	
森	9/16	0	21.4	31.50	0	0	0	0	0		
噴火湾西部		10	21.1	31.71	0	0	0	0	0		
8.5		20	20.9	31.83	0	0	0	0	0		
		30	19.0	32.67	0	0	0	0	0		

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現していますが、噴火湾西部には出現していません。

9月中旬の水温は、噴火湾東部では20.0~21.7℃、噴火湾西部では19.0~21.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年9月21日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種			下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	•	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L
猿払	9/13	0	18.1	33.76	0		0	0	0
_		10	18.1	33.81	0		0	0	0
		15	17.9	33.77	0		0	0	0
		20	17.6	33.78	0		0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェン゙カ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

コメント

9月の宗谷北部海域(猿払)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現しておりません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年9月20日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種	下痢性原因種*				
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	•	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	_
標津	9/15	0	18.1	30.09	0		0	10	0	
(10.0)		5	17.8	31.96	0		0	10	10	Dt10
		10	16.7	32.58	0		0	0	0	
		15	15.4	33.45	0		0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

9月の根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・アキュミナータとトリポスがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2016年9月20日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	<u> </u>		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
八雲	9/15	0	21.6	31.34	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	21.3	31.46	0	0	0	0	0	
8.0		10	21.2	31.55	0	0	0	0	0	
		15	21.1	31.70	0	0	0	0	0	
		20	20.9	31.83	0	0	0	0	0	
		25	20.0	32.47	0	0	0	0	0	
		30	18.6	32.51	0	0	0	0	0	
知内	9/15	0	22.3	33.58	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	22.3	33.75	0	0	0	0	0	
15.0		20	22.1	33.77	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

9月中旬の水温は、噴火湾西部では18.6~21.6℃、津軽海峡では22.1~22.3℃です。

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2016年9月14日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因	種		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種		備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
静内	9/12	0	20.4	32.14	0	0	0	0	10	Dt10	
太平洋中部		10	20.4	32.42	0	0	0	0	0		
5.5		20	20.1	33.10	0	0	0	0	10	Dru10	
		30	19.4	33.42	0	0	0	0	0		

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジħ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

9月中旬の水温は、太平洋中部では19.4~20.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年9月5日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種	下痢性原因種*				
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種		
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
厚岸	9/5	0	19.4	29.73	0	0	20	0		
(2.0)		5	18.9	32.41	0	10	0	50	Dc50	
		10	17.9	32.51	0	0	10	10	Di10	
		12	17.6	32.55	0	10	0	0		

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ
Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

コメント

9月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフォシス・フォルティ、アキュミナータ、コウダータおよびインファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年9月2日

中央水産試験場資源管理部

_						麻痺性原因種		下痢性原因和		
	地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
	(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
_	標津	9/1	0	18.0	30.73	40	170	50	0	_
	(4.0)		5	17.7	31.14	0	50	10	10	Dro10
			10	17.4	31.43	0	10	0	0	
			15	15.6	33.42	0	0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

9月上旬の根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra דֹּלְּן/אַלְּצֹּלְּ, Dn=Dinophysis norvegica דֹּלְן/אַלּצִלּ, Dru=Dinophysis rudgei דֹּלְן/אַלּגּלּוּ

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2016年9月1日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種	_		下痢性原因和		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao		Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
鹿部	8/24	0	23.0	31.43	0	0		0	0	10	Dm10
噴火湾湾口部		5	22.5	31.55	0	0		0	0	70	Dt30,Dm40
9.0		10	21.1	31.77	0	0		0	0	0	
		15	19.3	32.25	0	0		0	0	200	Dt200
		20	18.6	32.74	0	0		0	0	10	Dt10
		25	15.2	32.86	0	0		0	0	10	Dt10
		30	14.8	32.75	0	0		0	0	0	
		40	10.6	33.07	0	0		0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

8月下旬の水温は、噴火湾湾口部では10.6~23.0℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年8月30日

中央水産試験場資源管理部

											_
						麻痺性原因種			下痢性原因科	*	_
	地 点	月日	深度	水温	塩分	At	_	Df	Da	D属の他種	_
(i	透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
	浜益	8/24	0	23.1	28.54	0		0	0	10	Dm10
	(4.0)		10	23.9	33.79	0		0	0	0	
			20	19.3	33.82	0		0	0	0	
			30	16.1	33.89	0		0	0	0	
	網走	8/24	0	21.5	30.98	0		0	0	0	_
	_		10	20.4	32.51	0		0	0	0	
			20	18.9	33.40	0		0	0	0	
			30	18.3	33.42	0		0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

8月下旬の石狩湾海域(浜益)と網走南部海域(網走)で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは浜益でディノフィシス・ミトラがわずかに出現しております。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ。 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディフラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年8月29日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
紋別	8/22	0	20.6	32.64	0	0	0	0
(7.0)		15	19.9	33.49	0	0	0	0
		25	18.4	33.67	0	0	0	0
		39.3	17.9	33.66	0	0	0	0
厚岸	8/25	0	21.5	24.48	0	50	500	0
(1.0)		5	17.8	31.25	0	0	180	0
		10	16.4	32.64	0	0	0	0
		13	13.9	32.78	0	0	30	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

8月下旬の網走北部海域(紋別)と太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋東部海域(厚岸)でディノフォシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェン゙カ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年8月24日

中央水産試験場資源管理部

										_
					麻痺性原因種	Ē		下痢性原因	重*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	_	Df	Da	D属の他種	_
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
サロマ湖	8/22	0	21.9	21.79	150	Aa100	0	0	0	_
(1.5)		3	21.9	31.86	150	Aa120	0	0	0	
		6	21.4	32.54	40		0	0	0	
		9	21.0	32.69	20		0	0	0	
		12	20.0	32.71	0		0	0	0	
		15	18.9	32.99	30	Aa20	0	0	0	_
常呂	8/22	0	20.6	31.38	0	Aa40	0	0	0	_
(7.0)		10	19.6	33.55	30		0	0	0	
		20	19.3	33.56	0		0	0	0	
		30	18.9	33.62	0		0	0	0	_
能取湖	8/18	0	23.0	31.27	0		0	0	0	_
(3.0)		10	20.6	32.99	0	Aa130	0	0	10	_Dru10
江差	8/19	0	22.1	33.97	0		0	0	0	_
(7.0)		10	20.7	34.09	0		0	0	0	
		20	16.1	34.25	0		0	0	20	Dm20
		30	14.3	34.27	0		0	0	0	_

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

8月下旬のサロマ湖で麻痺性プランクトンAtがやや多く出現しており、網走中部(常呂)でも出現しています。 能取湖と日本海南部(江差)では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖でディノフィシス・ルジェイが江差でミトラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ、 Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス・ノルヴェジカ、 Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2016年8月23日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	生原因種		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	_ 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
知内	8/19	0	23.4	33.99	0	0	0	0	10	Dru10
津軽海峡		10	21.1	34.03	0	0	0	10	20	Di10,Dru10
13.0		20	19.9	34.06	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegicaディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡に出現しています。

8月中旬の水温は、津軽海峡では19.9~23.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年8月18日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
頓別	8/9	0	20.4	33.38	0	0	0	0
_		10	20.4	33.42	0	0	0	0
		20	20.4	33.43	0	0	0	0
		30	20.4	33.43	0	0	0	0
猿払	8/10	0	20.0	33.20	0	0	0	0
_		10	17.7	33.83	0	0	0	0
		20	16.4	33.85	0	0	0	0
		30	14.9	33.99	0	0	0	0
増毛	8/12	0	22.9	33.55	0	0	0	0
(22.0)		10	22.4	33.58	0	0	0	0
		20	19.7	33.81	0	0	0	0
		30	18.0	33.94	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ = 旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

8月の宗谷南部(頓別)、宗谷北部(猿払)および日本海北部(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。 下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2016年8月18日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	生原因種		下痢性原因和		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	_ 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	8/12	0	20.8	31.76	0	0	0	10	10	Dt10
太平洋中部		10	17.7	32.00	0	0	0	50	30	Dt30
10.0		20	16.3	32.85	0	0	140	60	60	Dt60
		30	14.9	33.11	0	0	0	50	50	Dn20,Dt30
蛇田	8/10	0	21.4	31.48	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	18.5	32.03	0	0	0	0	10	Dt10
9.5		10	16.4	32.31	0	0	0	0	20	Dt10,Dro10
		15	12.6	32.88	0	0	0	0	60	Dt60
		20	11.5	33.00	0	0	0	0	10	Dt10
		25	10.7	33.18	0	0	0	0	0	
八雲	8/11	0	22.6	31.14	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	20.7	31.67	0	0	0	0	50	Dt50
10.5		10	16.9	32.37	0	0	0	10	30	Dt30
		15	12.7	32.64	0	0	0	0	30	Dt20,Dro10
		20	10.8	32.95	0	0	10	0	0	
		25	8.6	32.95	0	0	50	0	10	Dt10
		30	7.9	33.02	0	0	90	20	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

8月上旬の水温は、噴火湾東部では10.7~21.4℃です。

8月中旬の水温は、太平洋中部では14.9~20.8℃、噴火湾西部では7.9~22.6℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年8月10日

中央水産試験場資源管理部

				Į.	麻痺性原因種	*			
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m))	(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	8/5	0	21.6	29.14	10	0	90	0	
(3.1)		5	14.8	32.14	10	30	460	40	Dn20, Dru20
		10	12.3	32.25	0	30	450	40	Dn20, Dru20
		12	11.4	32.55	20	50	770	220	Dn210, D.caudata

*At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

8月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸で、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年8月2日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因		_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	_
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
網走	7/25	0	16.4	32.75	0	0	10	0	_
(11.0)		10	14.3	33.70	0	10	0	0	
		20	13.8	33.76	0	30	0	0	
		30	13.8	33.78	10	10	0	0	_
浜益	7/25	0	20.5	32.80	0	0	0	0	_
(13.0)		10	20.3	32.78	0	0	0	0	
		20	19.9	32.99	0	0	0	0	
		30	16.0	33.74	0	0	0	0	_
標津	7/28	0	14.0	32.60	0	0	30	10	Dn10
(8.0)		5	13.5	32.83	0	0	10	0	
		10	12.9	33.54	0	0	10	0	
		15	11.8	33.43	0	0	0	0	_
江差	7/22	0	21.2	33.98	0	0	0	0	
(18.0)		10	17.7	34.22	0	0	0	0	
		20	16.2	34.18	0	0	0	0	
		30	15.5	34.21	0	0	0	10	_Dro10
能取湖	7/26	0	19.8	33.32	20	0	10	0	
(8.2)		10	16.6	33.53	0	70	50	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

コメント

7月下旬の網走南部(網走)海域と能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはで、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴァジカおよびロツンダータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2016年7月28日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種			下痢性原因		
地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	At 細胞/L	Ao	_	Df 細胞/L	Da 細胞/L	 D属の他租 細胞/L	備考
虹田	7/26	0	20.2	30.55	0	0		0	0	0	
噴火湾東部		5	19.8	31.54	0	0		0	0	20	Dt20
8.0		10	18.7	31.73	0	0		0	0	90	Dt90
		15	18.1	31.88	0	0		0	0	50	Dt50
		20	16.9	31.99	0	0		10	0	30	Dt30
		25	13.6	32.26	0	0		30	0	30	Dt30
鹿部	7/25	0	18.0	32.22	0	0		0	0	30	Dt20,Dro10
噴火湾湾口部		5	17.4	32.03	0	0		0	0	30	Dt30
		10	14.6	32.93	0	0		30	10	0	
		15	13.0	32.70	0	0		20	10	10	Dt10
		20	12.2	32.87	0	0		10	0	40	Dt30,Dru10
		25	12.1	32.94	0	0		20	10	0	
		30	11.7	32.94	0	0		10	0	60	Dt50,Dru10
		40	11.0	33.15	0	0		20	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegicaディノフィシス ノルヴェジħ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダダ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

7月下旬の水温は、噴火湾東部では13.6~20.2℃、噴火湾湾口部では11.0~18.0℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月28日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
猿払	7/20	0	14.8	33.76	0	0	0	0
_		10	14.6	33.78	0	0	0	0
		15	14.3	33.80	0	0	0	0
		20	14.2	33.82	0	0	0	0
増毛	7/21	0	20.0	33.20	0	0	0	0
(19.0)		10	17.7	33.83	0	0	0	0
		20	16.4	33.85	0	0	0	0
		30	14.9	33.99	0	0	0	0
厚岸	7/26	0	16.8	30.81	10	0	1600	10
(4.5)		5	13.8	32.10	20	0	2850	400
		10	12.1	32.16	20	40	1520	120
		13	10.9	32.27	20	0	3710	200

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

7月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸で、ディノフィシス・アキュミナータが非常に多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2016年7月26日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	 上原因種		下痢性原因	種		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	į	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
森	7/22	0	19.2	30.91	0	0	0	0	40	Dt40	
噴火湾西部		10	16.7	31.96	0	0	0	0	20	Dt20	
12.0		20	13.2	32.35	0	0	40	10	0		
		30	12.0	32.79	0	0	0	0	10	Dt10	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

7月下旬の水温は、噴火湾西部で12.0~19.2℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月21日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因	重*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	_
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
頓別	7/12	0	15.3	34.03	0	0	0	0	_
_		10	15.3	34.03	0	0	0	0	
		20	15.3	34.01	0	0	0	0	
		30	15.3	34.01	0	0	0	0	
能取湖	7/13	0	19.0	32.86	0	0	0	10	Dru
(8.0)		10	15.1	33.30	0	230	50	10	Dru
常呂	7/19	0	16.9	33.35	0	0	0	0	_
(14.0)		10	16.0	33.65	0	0	0	0	
		20	15.5	33.61	0	0	0	0	
		30	15.4	33.62	0	0	0	0	
サロマ湖	7/19	0	18.0	32.50	0	50	10	20	Dro
(7.0)		3	18.1	32.78	0	30	10	10	Dro
		6	16.3	33.11	0	140	20	0	
		9	15.5	33.06	0	60	0	0	
		12	14.8	33.15	0	110	0	10	Dro
		15	13.9	33.12	0	60	0	0	_

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

7月中旬の宗谷南部(頓別)海域、能取湖海域、網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していませ下痢性貝毒プランクトンは能取湖とサロマ湖でディノフィシス・フォルテォがやや多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ、 Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ、 Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2016年7月21日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	7/19	0	16.8	32.10	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	15.4	32.48	0	0	20	50	0	
7.0		20	14.0	32.58	0	0	50	0	70	Dt70
		30	11.1	32.68	0	0	0	10	30	Di30

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

7月中旬の水温は、太平洋中部で11.1~16.8℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2016年7月19日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
知内	7/13	0	18.4	33.38	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	15.0	33.95	0	0	0	0	0	
10.0		20	14.1	34.01	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンタッタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

7月中旬の水温は、津軽海峡で14.1~18.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月19日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
江差	7/11	0	18.6	33.74	0	0	0	0
(25.0)		10	18.7	33.95	0	0	0	0
		20	18.5	34.01	0	0	0	0
		30	14.2	34.16	0	0	0	0
紋別	7/11	0	13.5	33.54	10	0	0	0
(10.0)		15	12.4	33.67	0	10	10	0
		25	12.0	33.68	0	0	0	0
		37	11.9	33.68	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

7月中旬の網走北部(紋別)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・フォルテォとアキュミナータがわずかに出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月15日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	重*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
猿払	7/6	0	12.7	32.79	0	0	0	0
_		10	12.5	33.73	0	0	0	0
		15	12.5	33.74	0	0	0	0
		20	12.5	33.74	0	0	0	0
増毛	7/7	0	17.8	33.26	0	0	0	0
(20.0)		10	15.6	33.86	0	0	0	0
		20	14.1	33.91	0	0	0	0
		30	13.2	33.96	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

7月上旬の宗谷北部(猿払)海域および日本海北部(増毛)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス ・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月12日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因種*			
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種		
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
厚岸	7/11	0	15.5	29.84	0	0	40	0		
(4.0)		5	10.3	32.03	0	10	360	250	Dn	
		10	8.4	32.29	0	10	520	460	Dn	
		12	8.1	32.29	0	0	700	460	Dn	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

7月上旬の太平洋東部海域(厚岸)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2016年7月12日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因和	锺	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
森	7/8	0	16.4	32.17	20	0	0	30	0	
噴火湾西部		10	13.1	32.06	0	0	130	300	80	Dn10,Dt70
8.0		20	12.6	32.84	0	0	60	60	30	Dt30
		30	12.5	33.20	0	0	90	60	30	Dt30

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジħ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾西部で12.5~16.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月11日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和	锺*	_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	_
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	_
標津	7/8	0	10.6	31.90	0	0	440	140	Dn
(7.0)		5	10.4	31.94	0	0	320	130	Dn
		10	10.1	32.23	0	0	590	220	Dn
		15	7.6	32.88	0	0	160	80	Dn

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

7月上旬の根室海峡海域(標津)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月8日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因和		_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	_
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
常呂	7/5	0	13.9	33.05	0	0	0	0	_
(5.0)		10	13.6	33.79	0	20	0	0	
		20	13.6	33.79	0	10	0	0	
		30	13.6	33.78	0	0	0	0	
サロマ湖	7/5	0	15.4	32.92	0	10	0	0	_
(7.0)		3	15.3	32.93	0	20	0	0	
		6	14.3	33.08	0	40	0	0	
		9	13.9	33.19	0	90	0	10	Di
		12	13.8	33.14	0	40	0	0	
		15	13.2	33.15	0	50	0	10	Di

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

7月上旬の網走中部(常呂)とサロマ湖では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティとインファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェン゙カ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2016年7月7日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		重		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	_細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
虻田	7/4	0	16.1	30.68	0	0	40	30	30	Dt30
噴火湾東部		5	14.4	31.88	0	0	30	410	30	Dt30
10.5		10	13.6	32.02	0	0	50	360	40	Dn40
		15	12.7	32.20	0	0	30	60	20	Dn10,Dru10
		20	11.6	32.61	0	0	20	60	0	
		25	11.1	32.89	0	0	0	20	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾東部で11.1~16.1℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月6日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種	下痢性原因種*				
地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
	6/28	0	12.1	33.83	<u>мшле</u> / с	<u>тшле</u> / с	<u> МШЛВ/ L</u>	<u>мшле</u> / с		
(-)		10	12.1	33.81	0	0	0	0		
		15	12.1	33.81	0	0	0	0		
		20	12.1	33.81	0	0	0	0		
能取湖	6/28	0	16.6	32.70	0	0	10	0		
(6.5)		10	12.2	32.42	0	120	90	0		

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

6月下旬の宗谷北部(猿払)および能取湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でディノフィシス・フォルティがやや多く、アキュミナータが少し出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2016年7月5日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺	性原因種		下痢性原因		_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/	L 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	7/4	0	12.9	32.18	0	0	30	90	180	Dn120,Dt10,Dru50
太平洋中部		10	12.7	33.46	0	0	0	120	110	Dn100,Dru10
10.0		20	9.8	33.26	0	0	0	20	80	Dn80
		30	8.2	33.47	0	0	20	0	90	Dn90

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジħ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

7月上旬の水温は、太平洋中部で8.2~12.9℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月4日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因和		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
網走	6/27	0	11.5	33.35	0	60	20	0	
(6.0)		10	11.2	33.55	0	60	10	0	
		20	10.8	33.68	0	0	20	10	Di
		30	10.6	33.73	0	0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

6月下旬の網走南部(網走)で 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびインファンディブラが出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年7月1日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種	下痢性原因種*				
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種		
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
厚岸	6/29	0	13.8	30.15	0	0	760	60	Dn	
_		5	9.3	32.10	0	30	900	410	Dn	
		10	8.5	32.24	0	0	450	750	Dn	
		11	8.4	32.33	0	0	260	470	Dn	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

コメント

6月下旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルウェンカが非常に多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2016年6月30日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	下痢性原因種					
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao		Of	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	_細胞/L	細月	抱/L	細胞/L	細胞/L	
八雲	6/28	0	16.6	29.58	0	0		0	1120	0	
噴火湾西部		5	14.8	31.15	0	0	3	30	650	60	Dt60
4.0		10	13.7	31.94	0	0	1	80	740	190	Dn150,Dt40
		15	13.4	32.09	0	0	3	30	490	80	Dn60,Dro20
		20	13.0	32.18	0	0	4	10	300	10	Dro10
		25	12.8	32.22	0	0		0	70	10	Dn10
		30	12.3	32.33	0	0		0	50	10	Dn10

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部で12.3~16.6℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年6月29日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
頓別	6/20	0	11.2	33.71	0	0	20	0
_		10	11.1	33.69	0	30	0	0
		20	11.0	33.72	0	0	10	0
		30	10.8	33.74	0	10	10	0
紋別	6/20	0	11.5	33.54	0	10	0	0
(10.0)		15	10.8	33.67	0	0	0	0
		25	10.8	33.68	0	0	0	0
		35	10.8	33.68	0	0	0	0
江差	6/21	0	18.1	33.56	0	0	0	0
(12.5)		10	17.1	33.71	0	0	0	0
		20	16.8	33.88	0	0	0	0
		30	14.6	34.11	0	0	0	0
増毛	6/22	0	16.1	33.40	0	10	0	0
(25.0)		10	14.2	33.65	0	20	0	0
		20	13.1	33.81	0	0	0	0
		30	12.5	33.88	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

6月下旬の宗谷南部(頓別)、網走北部(紋別)、日本海南部(江差)および日本海北部(増毛)海域で麻痺性貝毒プラン介ンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2016年6月27日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	生原因種		下痢性原因	種	_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	_ 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
森	6/24	0	13.7	31.96	60	0	0	20	10	Dn10
噴火湾西部		10	12.0	32.35	10	10	0	120	50	Dn50
7.5		20	11.0	32.49	42	0	0	146	21	瀘水量960ml, Dn21
		30	9.1	32.57	0	0	0	50	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデプラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部で9.1~13.7℃です。

貝毒プランクトンモニタリング・速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2016年6月24日

函館水産試験場調査研究部

					r÷	- 医田廷			工态性压口	Œ	
地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	At 細胞/L	^{原因種} Ao . 細胞/L	-	Df 細胞/L	<u>下痢性原因₹</u> Da 細胞 /L	^哩 D属の他種 細胞/L	備考
蛇田	6/21	0	14.4	30.95	0	0		0	250	20	Dt10,Dru10
噴火湾東部		5	14.0	31.79	0	0		0	410	20	Dn20
6.8		10	13.9	31.89	0	0		10	110	50	Dn20,Dt10,Dru20
		15	13.5	32.07	0	0		0	160	40	Dn30,Di10
		20	13.0	32.21	0	0		10	60	30	Dn20,Di10
		25	12.6	32.26	0	0		0	0	0	
鹿部	6/21	0	12.2	32.11	10	0		30	520	170	Dn160,Dru10
噴火湾湾口部		5	12.0	32.07	0	0		110	480	160	Dn140,Dt20
7.0		10	12.0	32.35	10	0		50	190	290	Dn280,Dt10
		15	11.7	32.50	20	0		50	100	100	Dn80,Dro20
		20	11.4	32.68	0	0		0	30	0	
		25	11.3	32.74	0	0		0	20	20	Dn20
		30	11.6	32.87	0	10		0	50	30	Dn30
		40	11.6	32.97	0	0		0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾東部で12.6~14.4℃、噴火湾湾口部で11.3~12.2℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2016年6月24日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因和	重	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	6/21	0	15.6	24.29	10	0	30	6710	300	Dn280, Dt20
太平洋中部		10	9.9	31.88	0	0	30	540	590	Dn550,Dt30,Dru10
1.5		20	10.0	32.21	0	0	0	2140	1560	Dn1510,Dt50
		30	11.4	32.98	0	0	0	40	40	Dn40
知内	6/20	0	15.1	33.63	0	0	0	0	10	Dro10
津軽海峡		10	14.1	33.91	30	0	0	0	0	
7.0		20	13.4	33.97	0	0	10	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

6月中旬の水温は、津軽海峡で13.4~15.1℃、6月下旬の水温は太平洋中部で9.9~15.6℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年6月22日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	<u> </u>
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	<u></u>
浜益	6/15	0	14.1	32.58	0	0	0	0	_
(6.0)		10	13.8	32.74	0	10	0	0	
		20	13.5	33.18	0	0	0	0	
		30	13.1	33.28	0	0	0	0	
標津	6/21	0	9.7	31.65	40	0	110	10	Dn10
(10.0)		5	8.8	31.93	0	10	230	40	Dn40
		10	5.0	32.80	0	0	60	30	Dn20, Di10
		15	4.6	32.71	0	0	10	10	Dn10
常呂	6/20	0	10.9	33.65	0	10	0	0	
(11.0)		10	10.8	33.66	0	20	10	0	
		20	10.6	33.63	0	30	0	0	
		30	10.4	33.74	0	0	0	20	Dru10, Di10
サロマ湖	6/20	0	13.8	32.31	0	0	0	0	
(5.5)		3	13.7	32.37	0	0	0	0	
		6	12.7	32.33	0	20	0	0	
		9	11.4	32.91	0	0	0	0	
		12	11.1	33.10	0	0	0	0	
		15	10.4	33.34	0	0	0	0	<u></u>

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

6月下旬の根室海峡海域(標津)で

麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、根室海峡海域(標津)でディノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年6月16日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	6/7	0	13.5	33.15	0	0	0	0	
(15.0)		10	12.1	33.74	0	40	0	0	
		20	11.1	33.91	0	0	0	0	
		30	10.5	34.01	0	10	0	0	
猿払	6/7	0	9.8	33.82	0	0	0	0	-
(-)		10	8.7	33.96	0	0	0	0	
		15	8.7	33.94	0	0	0	0	
		20	8.6	33.96	0	0	0	0	_
江差	6/7	0	16.7	33.80	0	0	0	0	
(15.0)		10	14.1	34.13	0	0	0	0	
		20	13.9	34.15	0	0	0	0	
		30	13.8	34.13	0	0	0	10	Dro
能取湖	6/9	0	13.8	32.18	0	0	10	0	
(6.0)		10	11.2	32.84	0	0	20	10	Dn
標津	6/14	0	8.7	31.74	0	0	40	0	
(6.0)		5	8.2	31.83	0	0	120	10	Dn
		10	6.7	32.24	0	0	120	70	Dn(
		15	5.9	32.33	0	0	70	20	Dn

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

6月上旬の日本海北部, 宗谷北部, 日本海南部, 能取湖および根室海峡海域では 麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータ、ノルヴェジカ、ルジェイが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディフ・ラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2016年6月13日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種			下痢性原因和	重	
地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	At 細胞/L	Ao . 細胞/L	_	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	備考
静内	6/6	0	10.1	32.09	<u>тщися с</u> 0	0		<u>тшлеле</u> 0	350	10	Dn10
太平洋中部	٥, ٥	10	8.2	32.26	0	Ö		0	220	430	Dn430
14.0		20	7.4	32.50	0	0		0	40	130	Dn130
		30	6.2	32.50	0	0		0	10	30	Dn30
虻田	6/7	0	14.1	32.23	0	0		0	0	0	
噴火湾東部		5	12.6	32.20	0	0		0	80	10	Dn10
14.0		10	10.7	32.31	0	0		0	30	0	
		15	9.1	32.52	0	0		0	10	50	Dn50
		20	8.0	32.66	0	0		0	70	20	Dn20
		25	7.5	32.73	0	0		0	80	40	Dn40
森	6/7	0	13.9	32.25	40	0		0	50	0	
噴火湾西部		10	11.8	32.33	20	0		0	50	0	
10.0		20	10.4	32.34	10	0		0	50	50	Dn50
		30	7.2	32.76	10	10		0	60	10	Dn10

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス ᠴウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

6月上旬の水温は、太平洋中部で6.2~10.1℃、噴火湾東部で7.5~14.1℃、噴火湾西部で7.2~13.9℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年6月10日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	6/8	0	11.0	30.99	0	0	570	10	 Dn10
(3.5)		5	7.3	32.09	0	0	360	420	Dn420
		10	5.9	32.26	0	0	230	200	Dn200
		13	5.8	32.29	0	0	80	70	Dn70

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra דֹּלְּן/אַלְּגֹלּּלְּ, Dn=Dinophysis norvegica דֹּלְן/אַלְּגֹלּיִאָ Dru=Dinophysis rudgei דֹלְן/אַלְּגֹלּ וּשׁׁרְיִּלְּ

コメント

6月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プラン介シAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年6月9日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種_		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	_
増毛	5/31	0	12.4	33.58	0	30	0	0	
(13.0)		10	12.4	33.66	0	20	0	10	Di
		20	11.5	33.81	0	10	0	10	Di
		30	10.2	33.93	0	0	0	0	_
猿払	5/31	0	11.0	33.58	0	0	0	10	Di
(-)		10	11.0	33.58	0	0	0	0	
		15	11.0	33.58	0	0	0	0	
		20	11.0	33.58	0	0	0	0	_
常呂	6/6	0	11.0	33.00	0	0	0	0	
(8.0)		10	10.5	33.54	0	0	0	0	
		20	10.1	33.67	0	0	10	0	
		30	9.4	33.78	0	0	0	0	_
サロマ湖	6/6	0	11.6	32.20	0	0	0	0	
(8.0)		3	11.2	32.17	0	0	0	0	
		6	11.2	32.22	0	0	0	0	
		9	10.8	32.65	0	0	0	0	
		12	10.5	32.84	0	0	0	0	
		15	10.4	32.72	0	0	0	0	_
能取湖	5/26	0	13.7	32.33	0	0	10	0	
(8.2)		10	11.3	32.50	0	0	20	0	_

*At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

5月下旬~6月上旬の日本海北部, 宗谷北部, 網走中部, サロマ湖および能取湖海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂と能取湖でディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年6月1日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
網走	5/26	0	10.6	32.88	0	0	20	10	Dru
(8.0)		10	9.3	33.07	0	10	30	0	
		20	8.9	33.15	0	10	40	10	Di
		30	7.9	33.25	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

5月下旬の網走南部(網走)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ルシェイ、インファンディフブラが出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月31日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	 種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	5/30	0	7.3	31.81	0	0	30	10	Dru
(6.0)		5	7.2	31.90	0	0	30	0	
		10	6.8	31.97	0	0	20	0	
		15	4.8	32.22	0	0	30	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

5月下旬の根室海峡海域(標津)でプランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとルシェイが出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月30日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	<u></u>
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	5/23	0	15.3	34.12	0	0	0	0	<u></u>
(15.0)		10	14.3	33.97	0	0	0	0	
		20	14.1	34.00	0	0	0	0	
		30	14.1	34.01	0	0	0	10	Dro
紋別	5/24	0	10.2	33.25	0	0	0	0	
(10.0)		15	10.0	33.35	0	0	0	0	
		25	9.8	33.39	0	0	0	0	
		35	9.7	33.72	0	0	0	0	
厚岸	5/27	0	10.5	31.32	10	0	420	70	Dn70
(2.4)		5	7.3	32.05	0	0	140	160	Dn160
		10	5.8	32.18	0	0	90	210	Dn200, Dru
		12	5.4	32.21	0	0	70	140	Dn140

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

コメント

5月下旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プラン外ンAtがわずかに出現しています。

日本海南部海域(江差)、網走北部海域(紋別)では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋東部海域(厚岸)でディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィンス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィンス・インファンディフラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2016年5月26日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因		-
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
蛇田	5/24	0	12.7	31.52	0	0	0	110	20	Dt20
噴火湾東部		5	9.4	32.43	0	0	0	50	0	
9.0		10	8.9	32.44	60	0	0	80	0	
		15	8.6	32.52	10	0	0	20	0	
		20	8.3	32.56	0	0	0	160	20	Dn20
		25	7.5	32.71	0	0	0	70	0	
森	5/23	0	13.4	32.03	20	0	0	110	10	Dru10
噴火湾西部		10	8.7	32.50	20	0	0	100	0	
10.7		20	8.4	32.54	20	10	0	90	0	
		30	7.9	32.68	0	20	0	60	0	
鹿部	5/19	0	11.5	32.12	40	0	0	440	10	Dn10
噴火湾湾口部		5	9.7	32.13	0	0	0	150	10	Dn10
6.0		10	8.8	32.46	10	0	0	50	10	Dn10
		15	8.4	32.54	20	0	0	30	0	
		20	8.1	32.73	0	0	0	70	0	
		25	8.2	32.83	20	0	0	30	0	
		30	7.7	32.96	0	10	0	30	20	Dn20
		40	7.1	33.05	10	10	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダダ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

5月中旬の水温は、噴火湾湾口部で7.1~11.5℃、5月下旬の水温は、噴火湾東部で7.5~12.7℃、噴火湾西部で7.9~13.4℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月25日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因和		_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	_
猿払	5/17	0	9.14	32.39	0	0	0	0	_
_		10	9.02	33.13	0	0	0	0	
		15	8.98	33.16	0	0	0	0	
		20	8.96	33.18	0	0	0	0	_
常呂	5/23	0	11.6	33.05	0	0	0	0	_
(11.0)		10	9.8	33.16	0	0	0	0	
		20	9.3	33.27	0	0	0	0	
		30	9.3	33.28	0	0	0	0	_
サロマ湖	5/23	0	14.0	31.66	0	0	0	10	_ Dru
(7.2)		3	12.0	31.14	0	0	10	0	
		6	8.8	32.03	0	0	0	0	
		9	8.0	32.16	0	0	0	0	
		12	7.5	32.63	0	0	0	0	
		15	6.6	32.69	0	0	20	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス・タマレンシス

コメント

5月下旬の宗谷北部(猿払)、網走中部(常呂)およびサロマ湖海域で麻痺性貝毒プラン外ンAtは出現していません 下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でディノフィシス・アキュミナータとルジェイが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2016年5月24日

函館水產試験場調査研究部

					庄庙也	生原因種		下痢性原因和	活	
地点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	 Df 細胞/L	Da 細胞/L	<u>*</u> D属の他種 細胞/L	備考
透明度(m)	F /10	(m)	(°C)	(psu)	<u>細胞/L</u>			_		
静内	5/19	0	7.4	32.28	0	0	0	200	0	
太平洋中部		10	5.7	32.46	0	0	0	230	190	Dn190
10.0		20	4.6	32.50	0	0	0	20	30	Dn30
		30	4.5	32.49	0	0	0	10	40	Dn40
八雲	5/18	0	11.2	30.84	0	0	0	30	0	
噴火湾西部		5	9.7	31.98	20	0	0	60	0	
5.0		10	9.2	32.03	0	0	0	100	0	
		15	8.1	32.32	0	10	0	80	0	
		20	7.8	32.59	10	10	0	30	0	
		25	7.4	32.67	20	30	0	90	0	
		30	7.3	32.70	10	0	0	150	0	
知内	5/19	0	13.9	33.66	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	11.3	33.95	0	0	0	0	0	
7.0		20	11.3	33.96	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス ᠴウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

5月中旬の水温は、太平洋中部で4.5~7.4℃、噴火湾西部で7.3~11.2℃、津軽海峡で11.3~13.9℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月23日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因]種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	5/13	0	11.7	33.91	0	0	0	0	
(9.0)		10	11.6	33.99	0	0	0	0	
		20	11.6	33.98	0	0	10	0	
		30	11.4	33.98	0	0	0	10	Dro
能取湖	5/17	0	8.9	32.18	0	0	160	10	Dro
(4.5)		10	8.1	32.23	0	0	190	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコーニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

5月の日本海南部海域(江差)および能取湖海域では、麻痺性貝毒プラン外ンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとロツンダータが出現しており、能取湖でアキュミナータがやや多く出現しています

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月19日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因]種*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
浜益	5/13	0	10.3	31.78	0	0	0	0
(7.0)		10	10.1	33.91	0	0	0	0
		20	9.7	33.90	0	0	0	0
		30	9.3	33.88	0	0	0	0
増毛	5/13	0	9.7	31.14	0	0	10	0
(7.5)		10	9.1	33.27	0	20	20	0
		20	8.9	33.67	0	0	10	0
		30	8.8	33.73	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

5月の石狩湾海域(浜益)および日本海北部海域(増毛)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でディノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェン゙カ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月16日

中央水産試験場資源管理部

-					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	5/13	0	6.1	31.29	0	0	20	20	 Dn
(7.0)		5	4.4	31.57	0	0	50	30	Dn
		10	3.6	31.89	0	0	20	0	
		15	3.3	31.98	0	0	0	0	
厚岸	5/13	0	7.5	30.67	0	0	10	0	
(1.5)		5	4.5	32.12	0	0	110	90	Dn
		10	4.1	32.26	0	0	0	10	Dn
		13	4.0	32.29	0	0	0	10	_ Dn
頓別	5/10	0	7.2	33.40	0	0	50	0	
_		10	7.1	33.42	0	0	40	0	
		20	6.7	33.63	0	0	10	0	
		30	6.6	33.62	0	0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

5月上旬の標津海域、厚岸海域および頓別海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2016年5月16日

函館水産試験場調査研究部

					麻痩性	原因種		下痢性原因和	重	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da Da	 D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	5/9	0	6.7	31.86	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	6.1	32.90	0	0	0	0	60	Dn60
4.5		20	4.1	32.73	0	0	0	20	20	Dn20
		30	2.2	32.81	0	0	0	0	20	Dn20
虻田	5/9	0	8.4	31.99	0	10	0	50	0	
噴火湾東部		5	8.2	32.36	0	0	0	60	0	
11.0		10	7.4	32.45	0	10	0	0	0	
		15	6.5	32.71	0	10	0	10	20	Dn20
		20	5.9	32.79	0	30	0	0	0	
		25	5.8	32.97	0	0	0	0	0	
森	5/6	0	8.5	32.64	0	10	0	340	0	
噴火湾西部		10	8.0	32.58	0	10	0	430	0	
14.0		20	7.1	32.71	0	20	0	70	0	
		30	5.5	33.01	0	20	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス ᠴウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

5月上旬の水温は、太平洋中部で2.2~6.7℃、噴火湾東部で5.8~8.4℃、噴火湾西部で5.5~8.5℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月11日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因科		_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	_
常呂	5/9	0	4.3	32.22	0	0	10	0	_
(6.0)		10	2.5	32.36	0	0	70	20	Dn,Dru
		20	2.6	32.43	0	0	100	20	Dn,Dru
		30	2.4	32.46	0	0	20	20	Dn,Dru
サロマ湖	5/9	0	8.1	31.04	0	0	10	0	
(3.8)		3	7.9	30.95	0	0	30	0	
		6	7.2	31.18	0	0	20	10	Dn
		9	7.1	31.30	0	0	40	0	
		12	6.9	31.41	0	0	10	0	
		15	6.6	31.34	0	0	30	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ = 旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

コメント

5月上旬の網走中部およびサロマ湖海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2016年5月9日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因	種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
森	4/27	0	8.9	31.85	10	0	0	20	0	
噴火湾西部		10	7.0	32.55	0	0	0	0	0	
8.0		20	6.4	32.55	0	0	0	10	0	
		30	5.2	33.05	0	0	0	0	10	Dn10

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス ᠴウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

4月下旬の水温は、噴火湾西部で5.2~8.9℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年5月6日

中央水產試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	4/26	0	11.0	32.79	0	0	0	0	<u> </u>
(9.0)		10	10.5	33.58	0	0	0	0	
		20	10.0	33.93	0	0	0	0	
		30	9.9	34.00	0	20	10	0	
能取湖	4/26	0	6.1	31.71	20	0	460	50	Di30, Dn20
(5.2)		10	4.7	32.14	0	0	60	10	Di

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

コメント

4月下旬の能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに(20細胞/L) 出現しました。江差海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖海域でディノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年5月2日

中央水産試験場資源管理部

										_
						麻痺性原因種		下痢性原因]種*	
地	点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透り	月度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
常	宮	4/25	0	3.1	32.08	0	0	0	0	
(5	5.0)		10	1.5	32.72	0	0	30	10	Dru
			20	1.5	32.79	0	0	10	10	Dru
			30	2.2	33.03	0	0	0	0	
サロ	マ湖	4/25	0	5.6	30.53	0	0	0	0	
(3	3.3)		3	5.3	30.97	0	0	0	0	
			6	4.8	31.43	0	0	0	0	
			9	4.6	31.80	0	0	0	0	
			12	4.0	32.18	0	0	0	0	
			15	3.7	32.42	0	0	0	0	
埠	毛	4/25	0	8.4	32.01	0	0	40	0	
(9	9.0)		10	8.2	32.37	0	0	190	0	
			20	7.8	33.02	0	0	320	0	
			30	7.6	33.47	0	0	300	0	_

*At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

4月の常呂海域およびサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

増毛海域で下痢性貝毒プランクトンのディノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディフラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2016年4月28日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da		考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
虻田	4/25	0	7.5	30.62	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	6.1	32.50	0	0	0	20	10 Dn10	
10.0		10	5.9	32.54	0	0	0	0	0	
		15	5.8	32.59	0	0	0	0	0	
		20	5.7	32.61	0	0	0	0	0	
		25	5.5	32.63	0	0	0	0	0	
鹿部	4/21	0	6.8	32.43	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	5.8	32.66	0	0	0	50	0	
12.0		10	5.5	32.80	0	0	0	10	0	
		15	5.2	32.81	0	0	0	0	0	
		20	5.3	32.91	0	0	0	0	0	
		25	6.2	33.46	0	0	0	0	0	
		30	6.4	33.26	0	0	0	0	0	
		40	7.3	33.80	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス ᠴウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

4月下旬の水温は、噴火湾東部では5.5~7.5℃、噴火湾西部では5.2~7.3℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年4月27日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因]種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	4/20	0	4.3	34.05	0	0	0	0	_
(-)		10	4.3	34.06	0	0	0	0	
		15	4.3	34.06	0	0	0	0	
		20	4.3	34.06	0	0	10	0	
紋別	4/19	0	1.4	32.60	0	0	60	0	
(8.0)		15	3.3	33.00	0	0	20	10	Di
		25	3.3	33.02	0	0	30	0	
		38.9	3.3	33.19	0	0	0	0	
能取湖	4/20	0	4.6	31.14	0	0	0	0	
(4.0)		10	4.2	31.90	0	0	10	20	Dn
網走	4/21	0	4.1	31.93	0	0	180	10	Dru
(-)		10	3.2	32.61	0	0	200	20	Dn
		20	1.9	32.70	0	0	0	0	
		30	2.9	32.92	0	0	0	0	
厚岸	4/22	0	5.4	30.28	0	0	0	0	
(4.0)		5	3.4	32.01	10	0	10	0	
		10	3.1	32.25	0	0	0	0	
		12	3.0	32.34	0	0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェン゙カ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

4月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに(10細胞/L) 出現しました。同月中~下旬の宗谷北部~網走南部のオホーツク海沿岸では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2016年4月27日

函館水產試験場調査研究部

uk E		You de	-la 18	1 / /\		原因種		下痢性原因		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
地点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	4/12	0	5.7	33.40	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	6.2	33.39	0	0	0	0	0	
15.0		20	6.4	33.53	0	0	0	0	0	
		30	6.3	33.56	0	0	0	0	0	
静内	4/19	0	3.3	32.73	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	2.4	32.70	0	0	0	0	0	
3.0		20	2.3	32.82	0	0	0	0	0	
		30	2.3	32.85	0	0	0	0	0	
八雲	4/22	0	6.8	32.62	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	6.1	32.71	0	0	0	20	0	
15.0		10	5.3	32.77	0	0	0	0	10	Dn10
		15	5.1	33.09	0	0	0	0	0	
		20	5.1	33.28	0	0	0	0	0	
		25	5.1	33.32	0	0	0	0	0	
		30	5.1	33.32	0	0	0	0	0	
知内	4/12	0	9.1	33.79	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	9.1	33.89	0	0	0	0	0	
11.0		20	9.1	33.92	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダダ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

4月中旬の水温は、太平洋中部では2.3~6.4℃、津軽海峡では9.1℃です。4月下旬の水温は、噴火湾西部では5.1~6.8℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年4月20日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
浜益	4/14	0	7.5	29.48	0	0	10	0
(4.0)		10	7.2	33.06	0	0	40	0
		20	7.2	33.19	0	0	340	0
		30	7.1	33.78	0	0	10	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ = 旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

4月の浜益海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年4月19日

中央水産試験場資源管理部

									_
					麻痺性原因種		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	4/11	0	8.7	32.20	0	0	0	0	
(8.0)		10	8.0	34.01	0	0	0	0	
		20	7.4	34.04	0	0	0	0	
		30	7.1	34.05	0	0	0	0	
頓別	4/12	0	5.9	33.42	0	0	140	10	Di
_		10	5.9	33.51	0	0	120	10	Di
		20	5.8	33.81	0	0	20	10	Di
		30	5.8	33.81	0	0	90	10	Di

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

4月の江差海域および頓別海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、頓別でディノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジħ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリンク・速報(YC7) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年4月15日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因	種*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
常呂	4/11	0	5.5	33.25	0	0	30	0
(7.0)		10	5.4	33.34	0	0	40	0
		20	5.4	33.48	0	0	30	0
		30	5.4	33.48	0	0	90	0
サロマ湖	4/12	0	3.7	31.00	0	0	10	0
(4.5)		3	3.6	31.38	0	0	0	0
		6	3.6	31.40	0	0	0	0
		9	3.4	31.47	0	0	0	0
		12	3.4	31.51	0	0	50	0
		15	3.2	31.49	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

4月の常呂海域およびサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2016年4月14日

函館水産試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因	種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	植
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
蛇田	4/4	0	4.4	31.63	0	0	0	10	0	
噴火湾東部		5	4.0	32.37	0	0	0	100	20	Dn20
4.0		10	3.9	32.42	0	0	0	60	10	Dn10
		15	3.9	32.40	0	0	0	10	0	
		20	3.8	32.43	0	0	0	20	0	
		25	4.0	32.52	0	0	0	10	0	
森	4/5	0	6.5	31.30	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	5.5	32.87	0	0	0	0	0	
5.0		20	5.4	32.90	10	0	0	0	0	
		30	5.0	32.97	0	0	0	10	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していますが、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

4月上旬の水温は、噴火湾東部では3.8~4.4℃、噴火湾西部では5.0~6.5℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年4月11日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因]種*	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	
_(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	4/5	0	5.4	33.76	0	0	10	10	Di
-		10	5.4	33.77	0	0	40	0	
		15	5.4	33.76	0	0	10	0	
		20	5.4	33.76	0	0	30	0	
厚岸	4/7	0	4.3	29.99	0	0	0	0	
(2.5)		5	2.4	31.96	0	0	10	0	
		10	1.7	32.21	0	0	0	0	
		13	1.6	32.24	0	0	0	0	

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

4月の宗谷北部(猿払)海域および平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2016年3月28日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
鹿部	3/22	0	5.1	33.00	0	0	0	10	0	
噴火湾湾口部		5	5.0	32.99	0	0	0	10	0	
4.5		10	4.9	33.12	0	0	0	10	0	
		15	5.0	33.17	0	0	0	20	0	
		20	4.9	33.19	0	0	0	10	0	
		25	4.9	33.20	0	0	0	30	0	
		30	4.9	33.22	0	0	0	10	0	
		40	4.9	33.25	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

3月下旬の水温は、噴火湾湾口部では4.9~5.1℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2016年3月14日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	上原因種		下痢性原因	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	3/8	0	0.9	32.03	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	0.5	32.40	0	0	0	30	0	
7.0		20	0.9	32.36	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.48	0	0	0	0	0	
蛇田	3/2	0	4.6	32.59	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	4.4	33.37	0	0	0	0	0	
6.0		10	4.8	33.44	0	0	0	0	0	
		15	4.7	33.44	0	0	0	0	0	
		20	4.7	33.44	0	0	0	0	0	
		25	4.8	33.47	0	0	0	0	0	
八雲	3/10	0	4.0	32.83	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	4.4	33.39	0	0	0	0	0	
4.0		10	4.4	33.40	0	0	0	0	0	
		15	4.4	33.41	0	0	0	0	0	
		20	4.3	33.41	0	0	0	0	0	
		25	4.2	33.41	0	0	0	0	0	
		30	3.9	33.42	0	0	0	0	0	
森	3/4	0	4.2	33.55	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	4.1	33.56	0	0	0	0	0	
8.5		20	4.0	33.56	0	0	0	0	0	
		30	4.0	33.57	0	0	0	0	0	
知内	3/11	0	8.0	33.54	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	8.2	33.72	0	0	0	0	0	
13.0		20	8.3	33.76	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント リウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していますが、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

3月上旬の水温は、太平洋中部では0.5~1.0℃、噴火湾東部では4.4~4.8℃、噴火湾西部では3.9~4.4℃、3月中旬の水温は、津軽海峡では8.0~8.3℃です。

貝毒プランクトンモニタリンク・速報 (YC3) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年3月11日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種	_	下痢性原因	種*
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
標津	3/7	0	-0.5	31.72	0	0	0	0
(10.0)		5	-0.6	32.07	0	0	10	0
		10	-0.6	32.08	0	0	0	0
		15	-0.6	32.08	0	0	20	0
厚岸	3/10	0	0.4	31.42	0	0	0	0
(2.2)		5	0.2	31.86	0	0	0	0
		10	0.3	31.98	0	0	10	0
		13	0.1	32.09	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス

コメント

3月の根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2016年3月2日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因	種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞	/L 細胞/L	細胞/L	
八雲	2/23	0	4.0	32.83	0	0	0	10	0	
噴火湾西部		5	4.4	33.52	0	0	0	0	0	
10.0		10	4.4	33.53	0	0	0	0	0	
		15	4.4	33.53	0	0	0	0	0	
		20	4.4	33.53	0	0	0	0	0	
		25	4.4	33.54	0	0	0	0	0	
		30	4.5	33.55	0	0	0	0	0	
知内	2/12	0	8.7	33.90	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	8.7	33.91	0	0	0	0	0	
16.0		20	8.7	33.91	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していますが、津軽海峡には出現していません。

2月中旬の水温は、津軽海峡では8.7℃、2月下旬の水温は、噴火湾西部では4.0~4.5℃です。

貝毒プランクトンモニタリング・速報(YC2) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2016年2月12日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種		下痢性原因種*		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	属の他種	
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/I	_ 細胞/L	細胞/L	
厚岸	2/8	0	-0.9	31.64	0	0	0	0	
(4.0)		5	-0.9	31.71	0	0	0	0	
		10	-0.7	32.00	0	0	20	0	
		13	-0.3	32.04	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサント リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ ニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

コメント

2月上旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2016年2月10日

函館水產試験場調査研究部

						Œ DIÉ			±	
				16.00		原因種		下痢性原因		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	2/8	0	2.8	32.90	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	2.8	32.92	0	0	0	0	0	
7.0		20	3.1	33.07	0	0	0	0	0	
		30	6.1	33.43	0	0	0	0	0	
虻田	2/1	0	5.6	33.54	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	5.6	33.58	0	0	0	0	0	
9.5		10	5.7	33.65	0	0	0	0	0	
		15	5.7	33.65	0	0	0	0	0	
		20	5.7	33.66	0	0	0	0	0	
		25	5.7	33.67	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

2月上旬の水温は、太平洋中部では2.8~6.1℃、噴火湾東部では5.6~5.7℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2016年1月29日

函館水産試験場調査研究部

-					中毒素	上历四线		工态性压口 :	Œ	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	<u>原因種</u> Ao	Df	下痢性原因 Da	_理 D属の他種	備考
	ЛЦ									湘石
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
虻田	1/18	0	6.7	33.81	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	6.7	33.66	0	0	0	0	0	
11.0		10	6.7	33.66	0	0	0	0	0	
		15	6.7	33.67	0	0	0	0	0	
		20	6.7	33.67	0	0	0	0	0	
		25	6.7	33.67	0	0	0	0	0	
八雲	1/26	0	5.1	33.59	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	5.1	33.56	0	0	0	0	0	
6.0		10	5.2	33.61	0	0	0	0	0	
		15	5.2	33.63	0	0	0	0	0	
		20	5.2	33.64	0	0	0	0	0	
		25	5.2	33.64	0	0	0	0	0	
		30	5.2	33.65	0	0	0	0	0	
知内	1/22	0	9.3	33.88	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	9.3	33.90	0	0	0	0	0	
6.0		20	9.2	33.88	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

1月中旬の水温は、噴火湾東部では6.7℃です。1月下旬の水温は、噴火湾西部では5.1~5.2℃、津軽海峡では9.2~9.3℃です。

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋) 2016年1月18日

中央水産試験場資源管理部

					麻痺性原因種	下痢性原因種*		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L
標津	1/13	0	2.0	31.92	0	0	40	0
(11.0)		5	2.0	31.92	0	0	40	10
		10	2.0	31.92	0	0	60	0
		15	2.0	31.93	0	0	70	0
厚岸	1/13	0	-0.4	31.74	0	0	0	0
(5.0)		5	0.9	32.33	0	0	10	0
		10	1.2	32.36	0	0	20	0
		12	1.2	32.33	0	0	0	0

^{*}At = Alexandrium tamarenseアレキサント・リウム・タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス・タマレンシス

コメント

1月中旬の根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2016年1月7日

函館水產試験場調査研究部

					麻痺性	原因種		下痢性原因種		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ao	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	1/4	0	9.3	33.81	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	9.3	33.87	0	0	0	0	0	
14.0		20	9.3	33.88	0	0	0	0	0	
		30	9.4	33.88	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサント・リウム タマレンセ =旧名 プロトコ・ニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダダ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

1月上旬の水温は、太平洋中部では9.3~9.4℃です。